

維新が憲法改正に積極的に取り組んでいふことに敬意を表したい。賛成してもらえればありがたい。



橋下市長



憲法改正は絶対必要。何でもしたい。(憲法改正国民投票の)予行練習です。よ、大阪都構想は。

大阪府議会、大阪市議会でも度否決した「大阪都協定書」がよみがえったのは、橋下市長らによる「官邸頼み」のヤミ取引で、公明党の態度を変えさせたからです。

維新関係者は、「今回の絵を描いたのは菅義偉官房長官と松井幹事長。」と話す。(12月31日「毎日」)

学会関係者は菅氏の動きを「安倍政権の悲願の憲法改正に向け、自民と公明と維新の『自公維』連立を視野に入れている」とみる。(2月25日「朝日」)

安倍首相は…大阪都構想に理解を示す一方、憲法改正で維新の党の協力を求めた。政治的取引の材料にするのであれば認められない。(1月20日「北海道新聞」)

憲法改悪ならつて大阪市をつぶす——二重、三重に許せません。



「都構想」ストップ!



大阪港は、大阪と関西の人びとのくらしと産業をささえる大切な施設です。その大阪港は、神戸港が国営の国際貿易港として建設されたのとは対照的に、大阪市が自ら建設・運営に関わった市営港湾の伝統を有しています。大阪市民が長年にわたって築いてきた財産です。

それを「都構想」で、大阪府に移管＝取り上げるというのです。「都構想」にストップをかけましょう。



おかしい!

「官邸」の指図で

大阪市を

つぶすなんて

「東京」の圧力で事態が急変したことを各紙が指摘します。

『決断を受け入れて欲しい』。公明大阪府本部代表が…昨年12月28日、都構想案には反対しつつ、住民投票実施は賛成に転じる党本部の方針に理解を求めた場面だ。別室には支持母体、創価学会の関西の幹部らも控えていた。府議・市議は『従うしかない』とうなだれた。(2月5日「日経」)

東京の首相官邸からの指図ははね返し、大阪府議会、市議会は、協定書を否決すべきです。その上で、大阪をよくするためにどうするか——市民とともに徹底した議論をすべきです。

みんなの力で
はね返そう!



「慰安婦制度は必要だった」

暴言を撤回しない橋下市長

「慰安婦制度を正当化する橋下市長の態度と発言を強く非難する」—大阪市の姉妹・友好都市提携第一号のサンフランシスコ市の議会決議です。国連事務総長の「国際社会は納得しない」、アメリカ

国務省の「常軌を逸した不快な発言」など、橋下市長の歴史のわい曲と女性の人権じゅうりんの暴言に国内外から批判が噴出。ところが、橋下市長は、謝罪も撤回もしていません。許せません。



アジアとアメリカとの友好関係をまもってこそ大阪市が発展する道です